

平成 23 年 3 月 18 日

各 位

会社名 黒 田 電 気 株 式 会 社
代表者 代表執行役社長 金 子 孝
(コード番号 7517 東証・大証第一部)
問合先 執行役専務管理統括 黒田信行
(03)6716-0850

国連グローバル・コンパクトへの参加について

当社は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」への参加を表明し、2011 年 3 月 2 日付で正式に登録されましたのでお知らせします。

当社は、企業理念・社是・綱領 (<http://www.kuroda-electric.co.jp/profile/greeting.html>) のもとに、国連グローバル・コンパクト (<http://www.unglobalcompact.org/>) が掲げる「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」に係る 10 の基本原則を支持すると同時に、「国連グローバル・コンパクトの 10 原則」と「ミレニアム開発目標」を今後の CSR 活動の基軸と捉え、善き企業市民、グローバル企業として、地球規模の持続可能な社会の実現に向けて、あらゆる事業局面において貢献してまいります。

記

1. 国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクトとは、1999 年 1 月、スイス・ダボスで開催された世界経済フォーラム（通称：ダボス会議）にてコフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱した国際的な CSR イニシアチブです。企業のリーダーに参加を呼びかけ、国連機関、労働団体、市民社会とともに「人権」「労働基準」「環境」の分野において提示された原則を支持しつつ、持続可能な社会の実現に向けた活動を促すもので、2000 年 7 月のニューヨーク国連本部で正式に発足しました。その後、2004 年 6 月には 10 番目の原則として「腐敗防止」に関する項目が追加され、現在の 10 原則となっています。より成長の持続可能な社会を地球規模で実現するため、参加企業はその原則を経営に活かすとともに、参加の事実や自主的取組み内容を積極的に CSR 報告書等で公表することが求められています。

2. 国連グローバル・コンパクトの 10 原則

＜人権＞ 企業は、

原則 1：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則 2：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

＜労働基準＞ 企業は、

原則 3：組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則 4：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則 5：児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則 6：雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

＜環境＞ 企業は、

原則 7：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、

原則 8：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則 9：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

＜腐敗防止＞ 企業は、

原則 10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

3. ミレニアム開発目標

2000 年 9 月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した 147 の首脳を含む 189 の加盟国は、21 世紀の国際社会の目標として国連ミレニアム宣言を採択しました。このミレニアム宣言は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンス（良い統治）、アフリカの特別なニーズなどを課題として掲げ、21 世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。そして、国連ミレニアム宣言と 1990 年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたものがミレニアム開発目標（Millennium Development Goals :<http://www.undp.or.jp/aboutundp/mdg/mdgs.shtml>）です。

以 上